

広報

# しんじょう

7  
2006

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.583



アメリカのおにいさん・おねえさんと遊ぼう(7月1日/市民プラザ)

**ごみは資源の宝庫**……………2

**こんにちは、区長です**……………4

**市民提案事業**……………6

**障害者の自立を支援します**……………8

江戸だより/いきいき新庄人……………9

しんじょう見聞録……………10

7月のお知らせ……………12

特色ある教育活動の創出……………14

## 市の花[アジサイ]



市の木モミと同じく、昭和59年に市の花に選定された。順応性に富み、たくましい生命力を持つアジサイは、雪国新庄人の気質を象徴する。

## 新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>  
E-mail [info@city.shinjo.yamagata.jp](mailto:info@city.shinjo.yamagata.jp)

もつたいたない!

# ごみは資源の宝庫

わたしたちの生活の中で常に問題となることの一つに「ごみ」があげられます。単に焼却したり、埋め立てたりして処分するだけのごみも、再資源化することで資源として生まれ変わります。ごみの処理量も減らすことができます。ごみ袋の中をもう一度見直してみませんか。



▲大型小売店の店頭回収ボックス

「ごみにするのはもつたいたない!」

わたしたちは、生活の中で不要となったものを「ごみ」として出しています。

「燃やせるごみ」は、エコプラザで焼却。「燃やせないごみ」は、リサイクルプラザで破碎し、金属資源物を磁力で選別した後に再び燃やせるごみ・燃やせないごみに分けて、燃やせるごみはエコプラザで焼却します。最終的に燃やせないごみとして残ったものが、最終処分場に埋め立てられます。

分ける手間を惜しんで資源として活用できるものをごみの袋に入れてしまうことは、お金をかけて資源を処分することになり、巡りめぐってわたしたちのごみ処理費の負担増を招くこととなります。そのことは、とてももつたいたない

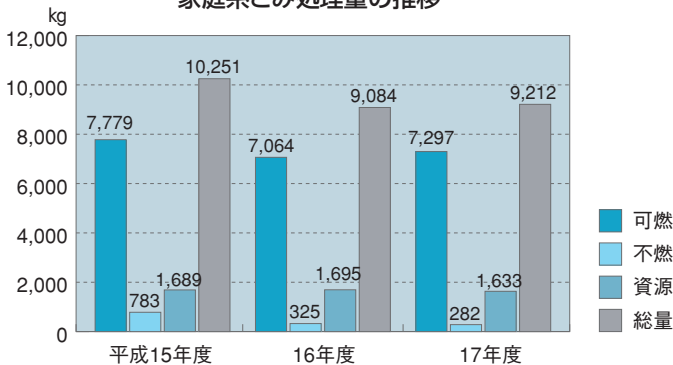
いことです。ごみを再資源化し、ごみの減量化も図るために、手間を惜しむことなく、正しく分別する習慣を身につけて、資源物をごみ袋から取り出しましょう。

## ごみ袋の中をもう一度見直してみませんか

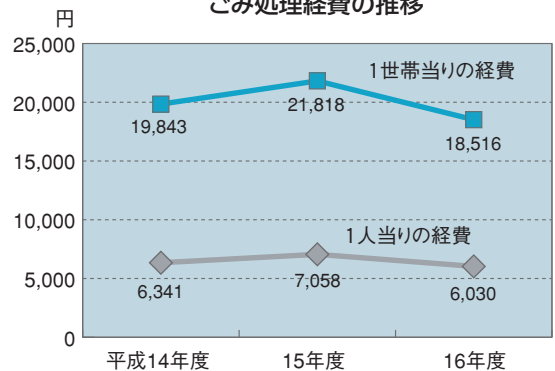
燃やせるごみを処分しているエコプラザでは、持ち込まれた燃やせるごみ袋の組成割合を定期的に調査しています。重量比で四十一パーセントを紙・布類、四十パーセントを廃プラスチック・ゴム・革類、十パーセントを生ごみが占めています。

新聞広告や包装用に使われた紙類は、汚れたものを除けばほとんどが資源として再利用できます。さらに、菓子箱や薬箱、各種パッケージ類も、名刺より大きな紙であれば雑紙として資源になります。

家庭系ごみ処理量の推移



ごみ処理経費の推移



# 生ごみも資源に変わります

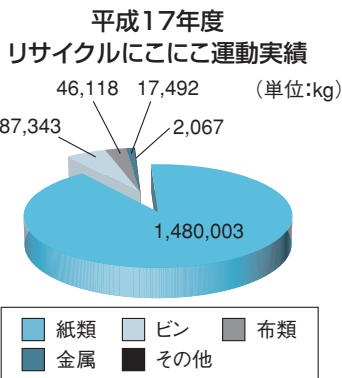
市は、平成19年度内の市内全域での生活生ごみの分別収集およびたい肥化事業の本格的な実施に向け取り組んでいます。21世紀に生きるわたしたちにとって大きな課題となる「循環型地域社会」を築くため、生ごみからたい肥を作り、有機性資源を土壌に還元し、収穫した安全・安心な食材を市民の食卓に行き渡らせる、環境保全型農業を軸とした、市民が主役となる取り組みです。



## 生ごみ「たい肥」化のメリット

- ごみ袋の使用量が減ります ●ごみ袋が軽くなります
- ごみ袋が臭わなくなります ●カラスによる被害が少なくなります
- ごみの焼却量が減ります(水分の多い生ごみがなくなります)
- ごみ焼却炉を長持ちさせることができます
- たい肥として、安心・安全な農作物をつくる土づくりに還元できます

※環境課では、市内の各町内で事業説明会を開催しています。説明会を希望される場合は、区長を通してお申し込みください。◎環境課環境保全室 ☎内線431・432



※市は集団資源回収に助成しています。

食品トレー類は、ごみ袋の三分の一近くの容積を占めますが、材質がペット製の物と、金や銀の色が塗られた物などを除きほとんどの物が資源として再利用できます。ごみを再資源化する回収の方法は、食品トレーはスーパーの店頭回収ボックス、紙類は子ども会や町内会の集団資源回収(リサイクル)にここ運動)があります。生ごみは水分を切ることで重量を大きく減らせます。また、家庭で菜園があればコンポストを活用することでたい肥にし、作物の肥料として資源循環を実践することができます。生ごみの水切りをさらに進めたり、資源物をごみではなく再利用するために資源収集に出したり、忙しい生活の中でも、ちょっとした手間をかけることで、今まで出していたごみを大幅に減らすことができます。

きます。ごみ袋の口を閉じる前にもう一度のぞいて見てください。

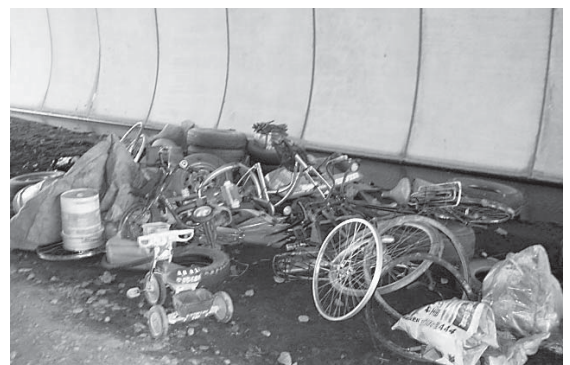
## スーパーの店頭回収が悲鳴

びん・缶・ペットボトル・紙パック・食品トレーなどの飲食用の容器類を対象に、大型小売店の協力を得て店頭回収ボックスを設置しています。

店頭回収は、使い終わった容器を資源として出す「市民」と、売った効率的な回収方法です。しかし最近、店頭の回収ボックスには、分別ルールを守らない一部の人により、食べ残しの弁当や台所から持ってきたような生ごみ、茶わんや長靴、使用済みの紙おむつなどを捨てられた店頭回収ボックス



▲ごみを捨てられた店頭回収ボックス



▲ごみの不法投棄(鳥越)

といったものまで入っています。資源として利用できないごみ類は、回収ボックスを設置している店が自社の事業系ごみとして処分しています。

このように、回収対象としていないごみを店頭回収のところに捨てることは、不法投棄と同じで犯罪行為です。また、回収のルールを守らない人が後を立たないため、防犯カメラを設置して対応する店も増えています。

せっかく皆さんの協力により軌道に乗った資源物の店頭回収を、このようなことで止めざるを得なくなるようなことがないよう、資源回収のルールを守り資源の有効利用にご協力ください。

# 市民と市政の橋渡し

# こんにちは、区長です

## 北部地区

太田	高橋 政雄
荒小屋	三原 重雄
高壇	大場 忠一
北新町	佐藤 秀雄
北新町団地	矢口 良信
中川原	山科 光春
野中	今田 雄一
谷地小屋	今田 繁良
上西山	信夫 治男
滝ノ倉	小笠原一雄
冷水沢	笹原 哲也
泉ヶ丘	小林 和夫
西町	佐藤 与助
円満寺町	山尾 順紀
木栄町	佐藤 栄一
小月野	阿部 孝一
月岡	武田 良三
梅ヶ崎	阿部 治郎
一本柳	高砂 勝彌
中山	小林 清美
小泉	三原 完治
上神明町	大野 昭
下神明町	阿部 一郎
桜馬場	門脇 正

## 西部地区

水上町	沼澤 秀昭
三本橋	佐藤 眞一
石川町	今田 正男
上万場町	柴田 忠志
下万場町	高橋 満男
常葉町一区	伊藤 雄一
常葉町二区	長倉 康爾
常葉町三区	長倉 徹
中山町	佐藤 護
吉川町	齋藤 功
鍛冶町	高階喜久雄
茶屋町	和田 公平
上茶屋町	渡部 孝徳
中道町	須藤 四郎
明倫通り	渡部 武
小松室団地	大場 勝也
下西山	佐藤 保男
あたご町	大類 俊明
新田	柏倉八百吉
飛田	佐藤 幸一郎
上野	佐藤 辰雄
蛇塚	伊藤 馨
庚申	笹 一雄
川原町	中鉢 隆

川西1区	三宅 正尚
川西2区	小笠原清六
川西3区	田中 静雄
川西4区	丹 長四郎
川西5区	土田 昭雄
川西6区	佐藤 亮一
桜町一区	西坂 公一
桜町二区	押切 守
土手の内	鎌田 恒夫
上堀端	鏡 正憲
大正町	早川 正美
仲町	阿部 智
下仲町	工藤 貞
岡崎町	森 徳康
泉町	齋藤 宏
下堀端北組	魚谷 忠志
下堀端南組	柴田 光文
御堀端東	佐藤 勝美
御堀端中	佐藤 武士
御堀端西	阿部他人吾
御堀端南	坂本 正喜
教育センター前	佐藤 忠雄
宮内一	佐藤 正巳
宮内二	笹 清貴
宮内三	沓澤 三郎

## 中部地区

千門町1区	長沼 敏
千門町2区	柴崎 善次
千門町3区	荒木 茂
宮内新町	青木 誠
上仲町	泉谷 一男
上南本町	井上 和郎
南町	田澤 賢一
本町	石川 泰助
馬喰町	中川 安司
清水川町	押切 利美
山片町	伊藤 国弥
落合町	石川 好吉
栄町	柳谷 富男
御長柄町	佐藤 智昭
上名古屋敷	柿崎 清
東下名古屋敷	今野 博邦
西下名古屋敷	小関 俊也
南紙漉町	天口 義章
北紙漉町	小松 亮範
上沖の町	片岡廣一郎
下沖の町	菅藤 満昭
若葉町中央	阿部 純二
若葉町東	荒川 清昭
駅構内	伊藤 真一

## 区長総会を開催しました

十八年度新庄市区長総会を市民プラザで開催し、二百十五人の区長に委嘱状を交付しました。

区長総会に続いて区長協議会総会が開催され、今年度の事業計画や予算が決定されました。今年度は役員改選が行われ、新しい役員体制が決まり、区長協議会会長に、後藤實さん(松本2区)が再任されました。

## 新任の区長は八十人

区長は、市の非常勤特別職として、地区内の世帯数の把握や月二回、市からの広報物の配布・回覧を通して行政情報を広く地区住民に知らせていきます。また、七月中旬から各地区で開催される「区長と市長のまちづくり会議」などにより、地域の課題や市政への意見を市に伝える重要な役



▲市主催の区長総会(5月10日)

# 平成18年度区長



▲委嘱状を交付

春日町	稲川 辰也	東部地区	梨ノ木	橋本 信勝	東部地区	松本2区	後藤 實	往還	阿部 徳一	八向地区	柏木原	佐藤 晃
曙町	波 紀雄	横町	関 屋	伊藤 健治	下北本町	松本1区	佐藤 太朗	泉田駅前	星川 征和	塩野	阿部	阿部 秀幸
住吉町	武田 清夫	上北本町	大福田	高橋 敏行	柳町	松枝	安彦 順二	旭通り	阿部 壽一	昭和三	昭和三	昭和三
吉袋	小松 正平	東天町	上山屋	金田 直	東町	市野々	篠木 隆	桜通り東	須藤 義夫	昭和二	昭和二	昭和二
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	休場	休場	伊藤 勝也	泉田西	平向 岩雄	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	樋渡 勝彦	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	柏木山	市野々	齋藤 光一	泉田東	柴田 幸人	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	拓生	市野々	武田 孝一	泉田北	阿部 五兵衛	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	二ツ屋	市野々	矢口 孝一	泉田南	海藤 靖彦	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	駒場	市野々	佐藤 英也	泉田東	奥山 勲二	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越8区	市野々	山科 孝	黒沢	小嶋 忠一	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越7区	市野々	吉田 力	吉沢	小野 忠一	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越6区	市野々	伊藤 隆士	萩野四	広野 英二	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越5区	市野々	伊藤 隆吉	萩野三	齊藤 勝彦	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越4区	市野々	八畝 清一	萩野二	草間 哲雄	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越3区	市野々	五十嵐政男	萩野一	森 馨	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越2区	市野々	渡部 主一	萩野一	柿崎 秀昭	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	鳥越1区	市野々	森 幸八	萩野一	庄司 清一	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	稲舟地区	市野々	小野 秀昭	仁田山一	早坂 憲昭	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	三吉新町	市野々	高橋 満	仁田山二	本合海一	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	三吉町	市野々	奥山 春夫	二枚橋	本合海二	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	日の出町	市野々	鈴木美喜雄	土内	本合海三	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	南末広町	市野々	今田 實	萩野地区	本合海四	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	末広町三區	市野々	石山 宣助	萩野地区	本合海五	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	末広町二區	市野々	阿部 正	萩野地区	本合海六	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	幸町	市野々	高山 茂吉	萩野地区	本合海七	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢七	市野々	林 泰夫	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢六	市野々	青木 恒治	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢五	市野々	伊藤 正幸	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢四	市野々	加藤 太	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢三	市野々	沼澤 俊昭	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一
東本町	今田 雄三	東町	下鉄砲町	上鉄砲町	金沢二	市野々	庄司 国昭	萩野地区	本合海八	昭和一	昭和一	昭和一



▲あじさい表彰を贈呈

割を担っています。区長の任期は二年。今回、新任の区長は八十人です。市民と行政の橋渡しとして、協働によるまちづくりを進めていくうえで欠かすことのできない存在です。

なお、長年にわたり区長を勤めた方にあじさい表彰などを贈呈しました。

【あじさい表彰(勤続20年以上)】渡部秋夫(木栄町)、三浦眞(東天町)

【あじさい感謝(勤続10年以上)】笹運太郎(庚申)、柳川隆昌(山片町)、若野禮三(上万場町)、石川兼寿(千門町1区)、伊藤正利(柏木山)、五十嵐章吉(末広町1区)、佐藤誠(千門町2区)、小野竹夫(升形五)

【区長協議会感謝(5年以上)】菊地英夫(三吉町)、柏倉文彌(金沢五)、黒坂五郎(二ツ屋)、二戸順一(清水)、山科敬太郎(太田)、中鉢誠(下山)、鈴木忠男(金沢七)、清水清勝(本合海七)、高砂和男(中山)、松田嘉門(畑)

(敬称略)

企画は市民！ 事業は協働で実現します

# 市民の提案事業がスタート

市民提案型協働パイロット(先導的)事業を募集したところ、七件の応募があり、六月二十二日、応募団体による提案説明会と事業の選考会を行いました。各団体がそれぞれの事業の目的や行政との協働の必要性、事業効果について説明し、市民委員三人・行政委員三人による選考会を実施しました。

## 協働パイロット事業の目的と内容

地域が抱える課題を解決していくため、市民が企画・提案した事業を市民と行政が互いの特性を生かすともに取り組むことによって、協働のまちづくりを推進することを目的としています。

事業内容は、公益を担う活動で、市の第三次振興計画後期五年基本計画を推進するものであり、補助終了後も団体などが事業として継続可能なものに対して、一事業二十万円まで、総額六十万円を補助するものです。

## 選考方法と結果

選考方法は、六人の選考委員が応募団体から提案内容の説明を受け、事業の実現性や地域への貢献度の高さ、行政との協働の必要性など八項目を評価しました。評価点数は一項目一〜四点。委員六人の合計点数(百九十二点満点)により各事業を選考しました。

今回の応募は七団体。選考の結果、「新庄市福祉団体連絡協議会(仮)設立事業」「青少年社会参画支援事業」をはじめ、六事業を



▲応募団体による提案説明会(市民プラザ)

協働パイロット事業として選定しました(補助金総額五十九万円)。採択された各団体の提案内容は左表のとおりです。選考結果など詳細については、

## 職場紹介 市役所の仕事

### 福祉事務所編

福祉事務所は、生活支援室、高齢障害支援室、児童支援室の三室があり、三十人(うち市社会福祉協議会派遣二人)の職員体制です。福祉事務所では、市民の皆さんが住み慣れた地域で、だれもが幸せに安心して安全に自立した暮らしができるように、必要な支援や相談を行っています。

#### ○どんな仕事をしているの？

##### 【生活支援室】

思いがけない事故や病気、精神の障害などいろいろな事情により、困っている人たちの生活を援助し、自分の力で生活ができるように支援しています。また、地域住民にとって身近な相談者である民生委員・児童委員と連携しながら、支援が必要な人への援助活動を行っています。

##### 【高齢障害支援室】

急速なテンポで高齢化が進行していると同時に、核家族化も進んでおり、高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯が増加しています。一人暮らしや寝たきりの高齢者の生活支援や、介護が必要な人には要介護度に応じた居宅

## 事業評価項目

- ①後期5カ年基本計画の施策を推進する事業か
- ②団体に実施能力があり、事業の実現性が高いか
- ③補助終了後も事業の継続が可能か
- ④企画内容が団体の活動のステップアップにつながるか
- ⑤地域への貢献度が高いか
- ⑥市民と行政の協働の必要性があり、相乗効果が高いか
- ⑦行政との役割分担が適切か
- ⑧公金(補助金)を支出する必要性が高いか

## 採択された提案事業の内容一覧

団体名	事業名 (補助金予定額)	事業の目的・内容	評価点数
NPO法人 くれよんはうす	新庄市福祉団体 連絡協議会(仮) 設立事業 (52,000円)	障害者自立支援法の施行に伴い、施設サービスや居宅サービスが変わる。障害(児)者を支援する団体がネットワークを作り、行政と連携を図っていくことで、利用者に適切なサービス、よりきめ細かなサービスを提供することができるようにしていきたい。	174点
hottoする会	青少年社会参画 支援事業 (80,000円)	中学校や高校卒業後または中退してから、社会に参加できないでいるニートやひきこもりの若者と家族をサポートするボランティアグループを立ち上げ、行政と連携しながら自立支援のパイプ役を果たしたい。	167点
泉田フェスティバル 実行委員会	第9回 泉田フェスティバル 開催 (140,000円)	泉田小学校の児童の創作劇や地元愛好会の民踊・民舞、昔語りの発表の場を通じ、地域の子どもは地域が育てる。また、地域の団結力を結集したイベントで、大人も子どもも元気になろうというねらいで開催する。	159点
NPO法人 子育てネットワーク バルボンさん	読み聞かせ ボランティア レベルアップ事業 (70,000円)	読み聞かせの世界に入る前の子どもたち(乳幼児)を視野に入れたわらべ唄研修会などとおして、読み聞かせ活動の土台を作る。また、図書館サービスの充実を目指し、図書館サポーターの育成を図る研修会を実施する。	159点
NPO法人 芸術文化振興 市民ネット新庄	芸術文化活動と おとした人づくり (150,000円)	織姫ミニコンサートや地域の伝統工芸体験、伝統食の実習などとおして、地域の子どもや大人に学びと交流・体験の場を提供し、家庭教育の環境づくりを推進する。	145点
LINKS	市民活動 若手リーダー 養成講座 (99,000円)	息の長い市民活動を実践するために、資金面やメンバー間の交流、他団体との情報交換などのノウハウを学ぶ講座を実施し、市民活動のリーダーを養成する。	135点

### 協働評価委員会とは？

今回、市民委員として選考にあたったのは、新庄市協働評価委員会の委員三名です。

協働評価委員会とは、市民と行政が相互の特性を生かした適切な役割分担により協働事業を行っているかを評価し、協働のまちづくりを推進することを目的としています。

新庄市協働評価委員会

会長 沼野 慈さん

(NPOもがみ代表理事)

同委員 光山昌浩さん

(マルミツ産業代表取締役社長)

同委員 大野正子さん

(公募委員)

ホームページにも掲載しています。今後、市はこのような事業をおして、市民活動の育成と行政における協働体制の確立を図っていきます。

◎総務課協働改革室

☎内線215



サービス・施設サービスの支援を行っています。また、障害のある人たちが安心して生活を送れるように、在宅福祉サービスの支援や社会活動に積極的に参加できるように望ましい支援と環境づくりに努めています。

【児童支援室】

保育所や児童館の運営など、主に小学校就学前の児童を対象とした子育て支援を行っています。その他にも児童手当(今年度から小学6年生まで拡大)や児童扶養手当の支給、学童保育所の運営、母子家庭や児童虐待などの相談業務なども行っています。

今、少子化が全国的な問題となっていますが、市としてもいろいろな子育て支援策を講じていきます。

# 障害者の自立した生活を支援します

## ■ 障害者自立支援法とは？

今まで、障害を持つ人(身体障害者・知的障害者・精神障害者・障害児)は、障害の種類、年齢などにより利用できる「障害福祉サービス」の内容が決められていました。18年4月から施行した「障害者自立支援法」は、障害を持つ人が共通の障害福祉サービスを受けられることにより、障害者の自立した生活を総合的に支援できるように定められた制度です。

## ■ 障害福祉サービスの内容

●**介護給付**・・・障害程度が一定以上の人に生活上または療養上の必要な介護を行います(ホームヘルプ、行動援護、短期入所など)。

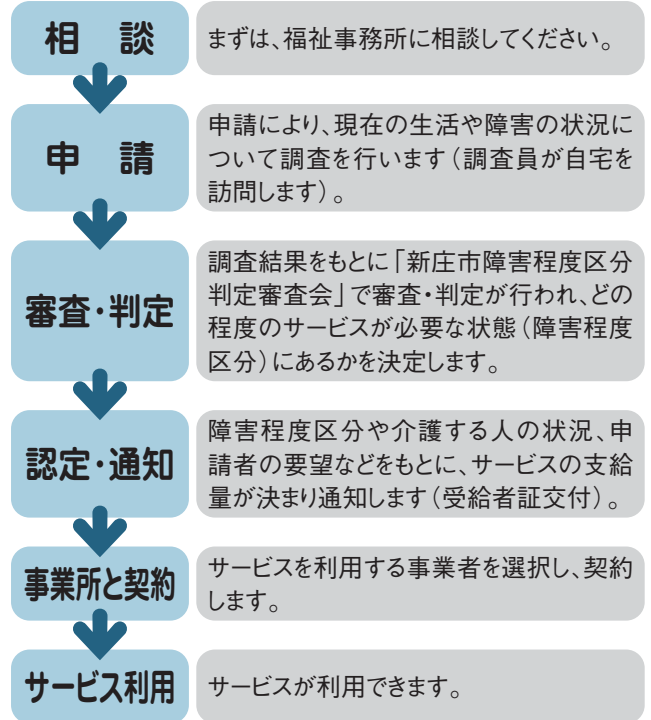
●**訓練等給付**・・・身体的または社会的なリハビリテーションや就労につながる支援を行います(グループホームなど)。

※新サービスへの移行は18年10月から

## ■ 障害福祉サービスにかかる費用

原則として自己負担は費用の1割(残り9割は市などが負担)ですが、利用者や世帯員の所得状況によって、利用者負担の上限額が決まります。

## ■ 障害福祉サービスが利用できるまで



◎詳しくは、福祉事務所高齢障害支援室へ。 ☎内線548

# いきいき健康づくり新庄21(栄養・食生活編)

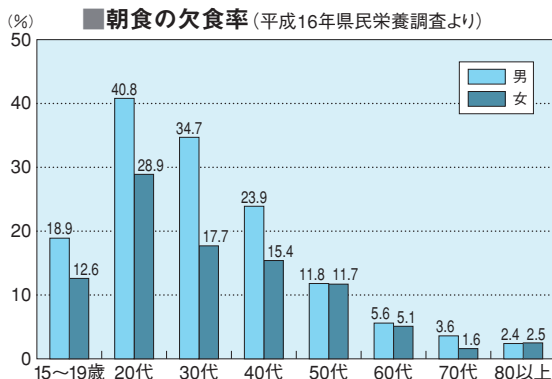
## ～食育ってなあに?～

◎健康課健康推進室 ☎内線513

最近「食育」という言葉を耳にする機会が増えました。食育とは、「食に対する興味を育て、大切さを学ぶこと」。そして「子どものころから自分で考え、健全で豊かな食生活を送る力をつけること」をいいます。食育は子どもだけでなく大人にとっても大切なことです。

### 生活のリズムは朝食から

忙しい現代社会では、家族がそろって同じリズムで生活することが難しくなってきました。そのため、家族団らんの機会が減り、一人で食事をとる「孤食(こしょく)」や朝食を食べない人も増えています。



体を動かす筋肉は、エネルギーが不足すると皮下脂肪を分解してエネルギーに変えることができます。しかし、脳のエネルギーになるのは、食事からとる血液中のブドウ糖だけです。朝食を抜くと脳は働くためのエネルギーが不足し、勉強や仕事に集中できなくなります。また、1日の食事を2回にすると、体はエネルギー源となる脂肪を蓄えようとするため、かえって太る原因になります。

### 食育で身につけたい5つの力

1. 食べ物を選択する力(体にいいものをバランスよく食べよう)
2. 味がわかる力(正しい味覚で食材の味やおいしさを知ろう)
3. 料理する力(五感を総動員させて料理を作ってみよう)
4. 食べ物の育ちを感じる力(自然や食べ物に感謝して食べよう)
5. 元気な体のわかる力(元気な状態を感じて常に保てるようにしよう)

### 市で行っている食育

- 中学生を対象にした「郷土料理づくり」
- 町内子ども会や小学生を対象にした「親子食育教室」
- 育児サークルでの料理教室
- 健康づくり講座での料理教室
- 地元の食材を使った「地産地消給食」



# 御家老の江戸だより

## わたしのお国自慢

◆新庄藩江戸家老佐藤 武さん  
(元三信建設工業(株)顧問)

わたくしが新庄を離れてから早いもので五十有余年になりますが、「わたしのお国自慢」にしているものは色々あります。その中でも「食べ物」に関するものが第一になってしまします。特に雪の多い最上地方の春の山菜は、その種類の多いこと、また料理法の多様なことが自慢です。ワラビ、ゼンマイはもちろんのこと、コゴミ、ウド、フキ、タラノメ、ミズ、シドケ、アイコ、シオデ、ウルイ、ササタケノコなどなどがあり、その料理法も、単純なるおひたしから白和え、くるみ、和え、ゴマ和えなどの和え物、酢の物、たたき物、天ぷら、油いため、身欠きニシンなどとの炊き合わせ、漬物各種などと、その山菜の特徴を活かした調理法があり、長年培ってきたいわば文化とも言えるでしょう。



この山菜文化は新庄でなければ味わえない文化で、品質の点でも生産量の点でもまた美味しさの点

でも共に全国に誇れるお国自慢の一つです。この五月には新庄に行く所用があり、その折に十分に堪能できて幸せを感じてきました。近年都会では天然物が出回る事はほとんどなく栽培物が多くなってきました。当然栽培物は山菜特有の匂いや苦味が薄くなり食べ易くなる反面、旨みも半減するのは否めないと感じます。

また秋には、キノコですが、こちらはバイオ技術により大半が栽培物で、品質的にも大差ありません。一般の市場でも年中出回っており、かえって季節感がなくなりました。自宅近くのスーパーでも、鮭川村産のキノコをよく見かけます。冬はなんとと言っても自慢は、多様な漬物です。おみ漬け、からし菜漬けなど、美味しい名品がたくさんあり幸福を感じます。  
このような自慢の数々も、最上地方の気候風土や環境に依存して生産される物ですから、今よろしく言われている環境汚染や環境破壊に陥らないように自他共に注意し、資源保存に努力しなければと考えています。

いきいき  
新庄人

## ブログでまつりを全国に発信!

伊藤 允さん(下金沢町)

「新庄まつりは、わたしの体の一部ですね!まつりが近づき、囃子の音をきくと血が騒ぎます」と語る伊藤さんは、昨年の新庄まつりから、山車の制作工程をインターネットのブログ(ホームページ上に書き込む日記)で全国に発信しています。

「始めたのは昨年からです。わたしが所属している“FM FLOWER”では、新庄まつり250年祭を盛り上げようとホームページで新庄まつり特設サイト『Viva!新庄まつりビバドンドン』を開設しました。まつりの歴史・由来の紹介や、山車を制作する人へのインタビュー、山車の解説など新庄まつりを知らない県外の人などにも分かりやすいように構成し、その中の1つとして、毎日更新して多くの人に見てもらえるようにと“山車制作日記”を始めました。

山車づくりの大変さや楽しさをインターネットを通して多くの人に知ってもらうため、苦労したところや制作にまつわるエピソードなども紹介しています。作業工程を写真だけでは伝えることが難しいので文章で解説を加えますが、説明ばかりにならないようバランスをとりながら伝

えられるように文体などを工夫しています。

初めのうちは、主に町内の若連の人たちが見てくれていましたが、次第に県外の友人からも“出来上がっていく過程が分っておもしろい”とか“自分も一緒に山車づくりをしているようだ”などの反響がありました。完成した山車をただ見てもらうより、少し違った視点からも山車を楽しんでもらえることが出来たようです。

新庄まつりの良いところは、それぞれの町内の人たちが中心になって、子どもから大人までみんなが一体になって楽しむことができるのが魅力です。ブログを通して興味を持った多くの人々が新庄を訪れ、気軽にまつりに参加してくれたらいいなと思います。また、他の町内でも制作工程を発信する人が増えればもっと面白くなると思います。

今年も8月下旬までブログを更新していきたいと思えます。全国に誇る新庄まつりの魅力をブログを通してより多くの人にピーアールしていきたいです」と伊藤さんは熱いまなざしで語ってくれました。

●FM FLOWER  
ホームページURL  
<http://fmflower.net>



# 聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲サクランボ園地事前視察会(6月21日/市内3カ所)



▲歯の衛生週間「お祭り歯っぴい」(6月3日/ゆめりあ)



▲第31回市民雪セミナー「雪害調査所設置とその誘致運動」(6月17日/雪の里情報館)



▲親子で楽しみながら交通安全を学んだ「かもしかわくわく運動会」(6月25日/市体育館)



▲NPOの基礎を学んだ市民活動入門講座「HOW TO NPO」(6月18日/市民プラザ)



▲第14回雪体験フィールドワーク「野草を使って紙をつくろう!!」(6月24日/雪の里情報館)

## 観光サクランボ園オープン

観光サクランボ園で関係者による視察会が行われました。今年、オープンしているのは新庄果樹研究会のメンバー2人。研究会会長の中川新一さん(往還)は、「今年は春の天候不順で数は若干少なめですが、大粒でおいしいものができました」と話しています。栽培面積は市全体で約2ヘクタール、1,500キロの生産が見込まれています。

## おまつり歯っぴい

歯の衛生週間(6月4日～10日)に合わせて新庄地区歯科医師会(三條常夫会長)が、「おまつり歯っぴい」を開催しました。フッ素塗布やブラッシング指導のほか、歯科検診や歯科無料相談コーナーを設置。ブラッシング指導の後は、かやのみ会による紙芝居や歯医者さんによるクイズショーで多くの親子連れが楽しみました。

## かもしかわくわく運動会

親子と一緒に交通安全の意識を高められるようにと、市かもしかクラブ連合会(奥山郁子会長)が「かもしかわくわく運動会」を開催しました。市内の親子連れ約300人が参加。「ストップのおやくそく」や「チャイルドシートのおやくそく」などの交通ルールを確認し、親子で一緒に楽しめる競技で元気に汗を流しました。

## 野草を使って紙をつくろう

最上広域教育研究センターの舟生卓磨さんを講師に招き、第14回雪体験フィールドワーク「野草を使って紙をつくろう」が開催されました。このワークショップには市内の小学生や親子連れなどが参加。ミントの葉やシロツメクサなどの野草を使い、ペーパーフラワーで飾りをつけるなどそれぞれ工夫を凝らしながら熱心に取り組んでいました。



## 栄光をたたえて

### ■最上地区中学校総合体育大会

【バスケットボール】男子①新庄③日新女子①明倫③萩野【ソフトテニス】男子／団体②明倫③新庄／個人③山科俊二・今田勇大(明倫)女子／団体②明倫③新庄／個人②小野由希子・佐々木麻衣(明倫)③後藤美紅・笹原芽衣(明倫)森彩貴・長谷川瑛里(新庄)【ソフトボール】女子②日新③新庄【剣道】男子／団体③新庄A／個人①羽賀博都(日新)女子／団体②新庄③日新／個人③高橋成美(新庄)【サッカー】①萩野【バドミントン】男子／団体①新庄③明倫／個人／シングルス①佐藤和樹(新庄)③柳谷泰志(明倫)小野将義(新庄)／ダブルス①星川巨輝・星川尚之(新庄)②佐藤潤也・宮岡翔也(新庄)③月野棕・松田健太(日新)女子／団体①日新②明倫③新庄／個人／シングルス①小林真奈美(日新)③斎藤未来(明倫)鈴木喬子(日新)／ダブルス②山科光紗・阿部早希子(明倫)③小関真莉菜・芳賀麻以子(日新)【卓球】男子／団体①日新／個人①高橋一生(日新)②門脇泰志(日新)③齋藤丈文(八向)女子／団体①新庄③日新／個人②大場奈々絵(新庄)③石川玲美(新庄)【柔道】男子／団体①日新A③明倫／個人55キログラム級②森遼平(日新)73キログラム級②阿部貴嶺(日新)81キログラム級③今井智紀(日新)八鍬雄基(日新)90キログラム級①今田卓耶(明倫)②井上大輔(萩野)③小田島圭吾(日新)90キログラム超級①金藤拓馬(日新)②三川颯(日新)③笹貴裕(日新)女子／団体②日新／個人44キログラム級③伊藤美由希(日新)52キログラム級②阿部千里(新庄)57キログラム級③大場美咲(日新)石田尚子(新庄)63キログラム級②高山美咲(日新)③海藤真琴(萩野)伊藤史佳(萩野)70キログラム級②叶内亜美(萩野)【水泳】男子／50m自由形①伊東卓哉(新庄)②渡部哲平(新庄)100m自由形①伊東卓哉(新庄)②栗田譲(新庄)100m背泳ぎ①栗田譲(新庄)②渡部哲平(新庄)200m平泳ぎ①荒川雄祐(新庄)200m個人メドレー①荒川雄祐(新庄)400mメドレーリレー①新庄400m自由形リレー①新庄女子／50m自由形①佐藤ルナ(日新)100m自由形①佐藤ルナ(日新)【空手】男子／形／団体①日新A②日新B／個人①土田秀成(明倫)③伊藤功貴(日新)叶内奨也(日新)組手／団体①日新A②日新B／個人1年①叶内奨也(日新)②仙台充功(明倫)③伊藤秀(日新)2・3年①伊藤真太郎(日新)②大泉泰士(日新)③草刈智貴(日新)土田秀成(明倫)女子／形／団体①日新②明倫③新庄／個人①海藤佳奈(新庄)③小林穂薫(新庄)荒川聡実(日新)組手／団体①新庄②日新③明倫／個人1年②小林穂薫(新庄)③国分円香(新庄)佐藤麻美(新庄)2・3年①海藤佳奈(新庄)②佐々木梓(明倫)③荒川聡実(日新)大場美紀(日新)



▲美しいハーモニーを披露した「第31回サマーコーラスフェスティバル」(6月24日／市民文化会館)



▲シネマ・アベージュが多目的ホール「ホール・アベージュ」にリニューアル(6月17日／ゆめりあ)



▲花と緑のまちづくり市民会議300人が参加して植栽した市民花壇(6月4日／かむてん公園)



▲NPO新庄観光ガイド協議会が開催した「新庄いっとこだじゅ〜ツアー」(6月23日／瑞雲院ほか)

■山形県身体障害者福祉協会長表彰  
更生援護功労者表彰中塚久雄(福宮)奥山芳雄(泉田4区)

■東北雪対策連絡協議会雪対策功労賞

第35回新庄雪まつり実行委員会

■第7回環境やまがた大賞

北辰小学校



# ら・せ

イベントや行政案内など  
まちの情報を紹介するページです

## 被爆61周年原水爆禁止山形県平和大会

○7月22日(土)午後1時30分～

○市民文化会館

◎新庄・最上地区実行委員会 ☎22-1390

### 募集

#### お盆・お祭りの 郷土料理教室

▼とき 7月29日(土)午前9時  
30分～午後1時 ▼ところ 市  
民プラザ ▼講師 伊藤妙子さ  
ん ▼材料代 800円

▼申し込み 事前に電話で

☎市民プラザ ☎22-4200

#### 各種栄養料理 教室のご案内

▼栄養教室Ⅰ(40歳～64歳) 7月14日(金) ▼栄養教室Ⅱ(65歳以上) 7月21日(金) ▼男性料理教室(成人男性) 7月28日(金)

※いずれも ▼時間 午前9時30分～正午 ▼ところ 保健セン

ター ▼材料代 3000円  
▼申し込み 実施日の1週間前  
まで

☎健康課健康推進室 ☎内線514

#### 第42回新庄市芸術祭 参加団体

▼開催期間 9月1日(金)～12  
月27日(水)

▼申し込み 7月26日(水)まで

☎市民文化会館 ☎22-7029

#### こども水泳教室

▼対象 小学3～5年生(先着  
20人) ▼とき 8月1日(火)～  
4日(金)午前9時30分～11時  
30分 ▼ところ 市民プール  
▼参加費 1,200円(保険  
料含む)

▼申し込み 7月27日(木)まで

☎新庄21地域スポーツクラブ事  
務局 ☎22-0681

#### 親子ふれあいの旅 いごうだじゅーシアター

▼対象 親子10組

▼とき 8月4日(金)午前8時  
45分新庄駅東口集合～午後  
3時 ▼コース ふるさと歴史セ  
ンター、戸沢家墓所、雪水防災  
研究センター、ヨコタ東北など

▼参加費 1000円(保険料)

▼持ち物 昼食など

▼申し込み 7月28日(金)まで

☎NPO新庄観光ガイド協議会  
☎22-2340

#### ワクワク探訪会 まるごと金山編

▼対象 小学3～6年生(保護  
者同行可先着20人)

▼とき 7月29日(土)午前8時  
30分～午後3時30分

▼ところ 岩円地蔵、木もれび  
館ほか12カ所

## 新庄市職員採用試験

○採用職種と予定人数

試験区分	受験資格
上級行政 2人	昭和54年4月2日～昭和60年4月1日までに生まれた人、または昭和60年4月2日以降に生まれ大学を飛び級で卒業(見込み)の人
保健師 1人	昭和54年4月2日～昭和60年4月1日までに生まれた人で保健師免許を有する人、または平成19年4月末までに当該免許を取得見込みの人

○受付 8月11日(金)まで(当日消印有効)  
○受験申込書 市役所2階総務課で  
交付します。郵便で請求する場合は、  
「受験申込書請求」と朱書きし、120円  
切手をはったあて先明記の封筒(角形  
2号)を同封のうえ、〒996-8501新庄  
市沖の町10-37総務課まで  
○1次試験 9月17日(日)/新庄中学校  
◎詳しくは、総務課秘書行政室へ。  
☎内線216・217

### ◆◆夏休み図書館情報◆◆

#### こどもなつのつどい

○とき 8月4日(金)午前10時30分～正午  
○内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネ  
ル・シアター、工作など

#### 夏休み学習相談

○とき 7月27日(休)～28日(金)午前9時30  
分～午後3時30分

○内容 夏休みの宿題や自由研究など  
について退職された先生方がアドバイスします。

#### 開館時間の変更

夏休み期間に合わせて開館時間を通  
常より1時間早め、午前9時から開館します。

○期間 7月25日(火)～8月20日(日)

○いずれも詳しくは、市立図書館へ。

☎22-2189

## 雪氷防災研究センター 一般公開

○とき 8月4日(金)午前10時～午後4時

○ところ 雪氷防災研究センター新庄支所

○内容 人工降雪システムの公開、雪と氷  
とダイヤモンドダストの観察、ペットボトルを  
使った人工雪の作成、研究活動紹介など

○持ち物 トレーナーなどの防寒着

○詳しくは、雪氷防災研究センター新庄支  
所へ。 ☎22-7550

#### 神室ダム施設見学会

▼とき 7月23日(日)午前10時

▼ところ 神室ダム(金山  
町) ▼内容 ダム湖ポート遊覧、

☎最上総合支庁農業技術普及課  
☎28-7772

#### 収穫味わいツアー

▼とき 8月2日(水)午前9時

▼午後2時30分

▼ところ 真室川町川の内ほ場

▼コミニティーセンター

▼内容 ジャガイモ、夏野菜の

収穫とシンジュース加工

▼参加費 1,500円

▼申し込み 7月20日(木)まで

#### 狩猟免許更新 適性試験・講習

▼とき 8月8日(火)午後1時

▼5時 ▼ところ 最上総合支

庁 ▼提出書類 狩猟免許更新

申請書、医師の診断書、写真

▼申し込み 7月28日(金)まで

☎最上総合支庁環境課  
☎28-1523

#### 小型船舶免許操縦者法 無料説明会

▼とき 7月22日(土)午前10時

▼11時30分 ▼ところ 市民文

化会館 ▼内容 操縦者法(違

反点数や行政処分)、試験問題

解説と合格基準など

▼申し込み 事前に電話で

☎マリライセンス教育センター  
☎0234-35-1730



灯籠流し

○7月28日(金)午後6時30分～(雨天時は翌日)  
○升形川(県立新庄病院脇)  
※当日午後2時から先着100人に灯籠を配布します。  
◎升形川に親しむ会事務局・笹原 ☎23-0288

# 7月の お・知

催し  
など

## 教育講演会

- とき 7月19日(水)午後1時30分～3時
- ところ 市民文化会館大ホール
- 講師 服部津貴子氏  
(服部栄養料理研究会会長)
- 演題 「食文化の伝承と食育のすすめ」
- 主催 新庄中学校父母と教師の会
- ◎入場無料です。詳しくは、新庄中学校へ。  
☎22-1555

## 講座「新庄を学ぶ」

- ～新庄・最上の自然Ⅱ～
- とき 7月23日(日)午前10時～正午
  - ところ 市民プラザ
  - 内容 「夏から秋への植物、最上の巨木」
  - 講師 大類貞夫氏 ●受講料 500円
  - 申し込み 事前に電話で
  - ◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

## 「産直まゆの郷」土用まつり

- とき 7月23日(日)  
午前9時30分～午後6時
- 内容 土用の「活(ドジョウ)・夏の旬野菜・花・農産物販売、焼きおにぎり・アイスクリーム屋台、先着200人に農産物プレゼント
- ◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課バイオマス推進室 ☎内線267へ。

## 「新庄かかし祭り」作品募集

- 展示期間 8月6日(日)～9月10日(日)
- ところ エコロジーガーデン
- 申し込み 7月31日(月)まで
- ※最優秀賞には新米1俵、優秀作品には豪華賞品を進呈します。
- ◎詳しくは、かかし祭り実行委員会事務局(農林課バイオマス推進室)へ。 ☎内線267

## 市民活動交流ひろば “ぷらっと”情報

### “ぷらっと”体験ひろば

- 活動に便利な機材の使い方、上手な活用法について、スタッフが説明します。
- とき 7月28日(金)午後2時～4時
  - ところ 市民プラザ「ぷらっと」  
◆公益活動相談日◆
  - とき 7月26日(水)午後1時～4時
  - ◎詳しくは、“ぷらっと” ☎ ☎23-6211、市民プラザ ☎22-4200 FAX22-4201へ。

## 電話加入権の公売

▼とき 7月26日(水)午前10時30分～(15分前に集合)

## お知らせ

問 最上広域消防本部  
☎22-7521

問 消防試験研究センター山形県支部  
☎023-631-0761

問 県労働相談センター  
☎023-623-4010

問 福祉サポートセンター山形  
☎29-4556

問 県青年司法書士協議会  
☎22-0728

## 応急手当普及員 養成講習会

▼とき 8月18日(金)～20日(日)  
午前9時～午後6時  
▼ところ ゆめりあ ▼内容 AED(自動体外式除細動器)の使用手法と心肺蘇生法・止血法など ▼受講料 5,000円  
▼定員 40人  
▼申し込み 7月31日(月)まで

▼ところ 市役所第一会議室  
▼持ち物 印鑑・免許証など  
※当日中止の場合もあります。

問 介護ヘルパー  
介護労働者110番

## 危険物取扱者 消防設備士 免状の写真書換え

▼とき 7月19日(水)～20日(木)  
午前10時～午後7時  
▼内容 介護労働問題や制度についての電話相談  
▼フリーダイヤル  
☎0120-378-0660

問 12時間クレサラ  
生活保護110番

## 障害者グループホーム 『ボラリス』見学会

▼とき 7月17日(月)～21日(金)  
午前10時～午後5時  
▼ところ 福祉サポートセンター山形(北本町立体駐車場隣)

▼とき 7月29日(土)午前9時～午後9時 ▼ところ 山形県司法書士会館(山形市緑町)

▼内容 電話と面談による無料相談 ▼相談電話 ☎023-635-8151(当日のみ)

## 国民年金の届け出を忘れずに

～こんなときは手続きが必要ですよ!～  
就職や結婚、退職などさまざまな節目には、国民年金の加入の種類や保険料の支払い方法も変わり、そのつど届け出が必要です。  
○20歳になったとき、就職・退職したとき、配偶者が退職・転職したとき(第3号被保険者の場合)、配偶者から扶養されなくなったときなど(第3号被保険者の場合)  
◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金室 ☎内線134へ。

## 小学校就学時健康診断

とき	ところ	入学予定校
8月30日(水)	新庄小	新庄小・山屋小
9月6日(水)	沼田小	沼田小・北辰小
9月8日(金)	泉田小	萩野小・泉田小・昭和小
9月13日(水)	升形小	本海小・升形小
9月15日(金)	日新小	日新小

- 対象 来春小学校に入学する幼児
- 受付時間 いずれも午後1時から
- ◎案内状を7月下旬に保護者あてに郵送します。詳しくは、教育委員会学校教育課へ。 ☎内線447

## 30歳代人間ドック

- 対象 昭和42年4月2日～51年4月1日生まれの国民健康保険加入者
- 期間 8月29日(火)～10月31日(火)までの指定日
- 内容 基本健診、胸部検

- 診、胃がん・大腸がん・子宮がん検診(偶数年齢の女性のみ)
- 負担金 6,700円(偶数年齢の女性は8,800円) ○定員 先着120人
- 申し込み 8月15日(火)まで
- ◎詳しくは、健康課健康推進室へ。 ☎内線515・516

## 「特色ある教育活動の創出」

昨年、市が策定した「いのち輝く新庄もみの木教育プラン21」を指針に各校では次代を担う子どもたちを育成しています。今回は、本合海小学校での取り組みを紹介します。

### 地名をキーワードに

「本……まなび」「合……かかわり」「海……いのち」。本合海小学校は、地名の「本」「合」「海」をキーワードにして、子どもたちの確かな学力と豊かな社会性を育成することを目指しています。そして何よりも、学校が子どもの側に立ち、子どもの成長を最優先に考え、次のような教育活動を展開しています。

### 「本」……まなび

「正しく、分かりやすく、豊かに」を合い言葉に表現活動に取り組んでいます。今、最も頑張っているのが、「詩の暗唱」です。「詩の暗唱」は、声やこぼれごの感覚・根気強さを育てます。十分に練習し、担任の先生と校長先生から聞いてもらいます。休み時間になると、校長室に子どもたちがやってきて元気な声を響かせています。

また、毎週水曜日の朝の時間に子どもたちが楽しみにしているのが「こやぎの会」(お母さん方による読み聞かせボランティア)の読み聞かせです。これは、全学年で実施しています。この時間は、一年生から六年生まで身を乗り出してお話を聞いています。

### 「合」……かかわり

「子どもを育てるのは子ども」を合い言葉に、掃除や給食をはじめ、いろいろなことで一年生から六年生の縦割り班の活動を推進しています。

この縦割り班による「活動タイム」では、全校児童がいきいきとゲームに参加しています。下の学年は、上の学年に習い、上の学年は、下の学年の面倒をみることで、自分たちが育ちます。

このかかわり合いを通して子どもたちの相手を思いやる心がはぐくまれています。



▲「こやぎの会」の読み聞かせ

### 「海」……いのち

「食事・睡眠・体力づくり」を合い言葉に、生活リズム改善と体力の向上を目指しています。そのため、子どもたちの生活リズムを調査し、さらに、家庭での過ごし方の個別指導も行いながら進めています。

また、子どもたちの「いのち」を守るために、毎日集団下校を実施し、一人での下校にならないようにしています。また、PTA全会員による「子ども見守り隊マモルンジャー」を組織し、登下校の安全を確保しようとしています。子どももの安全を第一に考えています。

(本合海小学校)

## 新庄の歴史

## こぼれ話

### 西郷隆盛と新庄 (一)

明治維新時に活躍した西郷隆盛が、戊辰戦争時に新庄・本合海に来ていたことは、近年明らかになったことである。

戊辰戦争の末期、東北地方の多くの藩が政府軍(官軍)に降伏する中、最後まで戦っていたのが庄内藩であるが、その庄内藩も、ついに官軍への謝罪降伏を決意した。

官軍は、薩摩藩の黒田清隆を参謀として、庄内藩を征討すべく最上川を下っていたが、慶応四年九月二十三日、両者は清水(大蔵村)で会談し、同二十五日、古口においてその交渉を詰めた。その結果、黒田率いる官軍が鶴岡に入り、同二十七日、無血入城を果たしたのである。

この官軍の中に西郷隆盛がいたという説が、昔から唱えられていたが、その確実な証拠はなかった。ところが、近年、日本合海地区公民館の解体の折、「辰年軍事諸向書上」という史料が発見され、それには、次のようなことが記してあった。

薩摩藩の西郷隆盛を隊長とする同藩兵七百人が、九月二十四日早朝から本合海に来て、兵士の宿を用

～図書館はオアシス～

# BOOKS NOW!

今月のおすすめ

## 『ヘウレーカ!ひらめきの瞬間』

～誰も知らなかった科学者の逸話集～  
ウォルター・グラットザー 著

天才といわれる科学者ってこんなに面白い人々だった笑話から感動まで、あまり知られていない181のエピソード。科学好きの人にはもちろん、「ピタゴラスの定理」の裏話など、科学に関心がなくても読んで楽しいおすすめ本。



### ● 今月のテーマ展示 ●

## 「育児と家庭教育」

少子化の傾向は大きな社会問題となっています。「子育てはたいへん」、「地域や家庭から教育の力が失われた」等マイナスのイメージが先行しがちですが、ぜひ今月の展示をごらんください。子育て中の作家の抱腹絶倒エッセイやおばあちゃんの知恵、先輩たちの体験談など元氣な本を展示します。

### 新着図書

- ◆ はらぺこへびくん ……宮西 達也
- ◆ ねこのなまえ ……いとう ひろし
- ◆ おんちのイゴール ……きたむら さとし
- ◆ ももんちゃんぼっぼー ……とよた かずひこ
- ◆ やったね!へんてこライオン…長 新太
- ◆ ひよこのひとりごと —残るたのしみ—  
……………田辺 聖子
- ◆ テレビと権力 ……田原総一郎
- ◆ ひとくちの甘能 ……酒井 順子
- ◆ 柳生雨月抄 ……荒山 徹
- ◆ 戦争を知っていてよかった…曾野 綾子
- ◆ 悪魔と博覧会 ……エリック・ラーソン
- ◆ バレエ漬け ……草刈 民代
- ◆ 水恋 ……喜多嶋 隆
- ◆ 男(オス)女(メス)の怪 ……養老 猛
- ◆ バルトの楽園(がくえん) ……古田 求
- ◆ 新米パパは育休さん —新米パパの育児奮闘記— ……石井 憲雄
- ◆ 滞つくし ……明野 照葉
- ◆ 移り香の秘密(靖保己一推理帖) 中津 文彦
- ◆ カラシニコフ 2 ……松本 仁一
- ◆ 泣き虫しよったんの奇跡 —サラリーマンから将棋のプロへ— ……瀬川 晶司
- ◆ さざなみ情話 ……乙川優三郎
- ◆ 霞ヶ関中央合同庁舎第四号館 —金融庁物語— ……江上 剛
- ◆ カンニング少女 ……黒田 研二
- ◆ 金馬のいななき ……三遊亭金馬
- ◆ 東京バンドワゴン ……小路 幸也
- ◆ 紛争と難民 緒方貞子の回想 ……緒方 貞子
- ◆ ハナさん—おばあさんの童話— ……森山 京

- 開館時間 午前10時～午後6時  
(7/25～8/20は午前9時開館)
- 休館日 毎週月曜日、祝日
- ◎ 市立図書館 ☎22-2189

## 語学指導と国際理解

～コロラド大学語学ボランティア～

六月からの約二カ月間、米コロラド州立大学の語学ボランティア交流員が新庄を訪れ、市内の各小中学校で語学指導や課外学習などを行っています。

「コロラド州は山形県と姉妹県との関係にあり、県とコロラド州立大学が相互交流を推進しよう」と、県内での語学ボランティアの募集を行いました。市ではA.L.T.(外国語指導助手)が不在のため国際理解教育における人材不足を解消しようとして国際交流のボランティア団体と協力し交流員の受け入れを希望しました。

今回新庄を訪れたのは「コロラド州立大学三年生のマサイアス・クリーガーさん(20歳)と一年生の

リズ・メラソンさん(19歳)、ハリソン・ペイトンさん(19歳)。いずれも市内の一般家庭にホームステイしながら市内の各小中学校を回っています。

子どもたちへの学校での語学指導のほか、農作業体験などの課外活動、地域住民との交流など国際理解を深めるための行事にも参加しています。

七月一日に、国際理解教育の一環として「アメリカのおにいさんおねえさんとあそぼう」と題して、ごとも国際理解教室が市民プラザで開催されました。市内に住む小学生約八十人が参加し、クリーガーさんとメラソンさんのお話を聞いた後、簡単な英語を

交えたゲームなどで、楽しみながら外国の文化や言葉について学びました。学校の授業とは一味違った内容に、参加した小学生は終始笑顔で取り組んでいました。

(教育委員会 生涯学習課)



▲学校での語学指導(6月6日/新庄小学校)

意せよと命じた。さらに、庄内藩討ち入りのため、炊き出し、軍隊の雑用を務める人足、および兵士の乗船の手配をせよとの命令で、本合海では、翌二十五日昼から夜中まで米八俵を炊き出し、二十六日の未明まで兵士たちを小舟で送った。

西郷隆盛のことを「斎郷吉之助様」と記しているが、「西郷吉之助」(西郷隆盛)のことであることは間違いない。西郷は控えていたのかもしれない。

詳しくは、大友義助氏「西郷隆盛の来新を記した本合海町『辰年軍事諸向書上』(『最上地域史』第十六号所収)を参照されたい。

(生涯学習課)

# かつろく思い出の四季

## 鉄砲町の地蔵さんのおまつり



立ち並んで見るのも楽しかった。こども相手の露店も数軒出た。かき氷を、細かいクリーム状にして売っていたのがうまかった。入口左手の「蔵王大権現」も、その日におまつりだった。霊験あらたかな神で、おねがいすると失物の所在が必ずわかるというわ、参拝する人が多かった。

絵＝三条正美、文＝笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

旧六月二十四日は、鉄砲町の地蔵尊のおまつりだ。下金沢の不動尊と、茶屋町一里塚の稲荷さんのまつりと共に、新庄の三まつりといわれていた。昼はこどもの角力(相撲)があり、夜には活動写真(映画)などがかけられた。冬の月が輝く金色夜叉で熱海の海岸の場面が雨の降っているような、粗末なフィルムであったりした。それでも、蚊に喰われながら、



### 見・所・探・訪

## 芭蕉の氷室の句碑と柳の清水

芭蕉が門人曾良と、奥の細道をたどるべく江戸深川の草庵を発ったのは、元禄2年(1689)3月。5月16日は堺田の境守の家で、「蚤虱(のみしらみ)馬の尿(しと)する枕もと」の句を残して山刀伐(なたぎり)峠を越し、尾花沢・大石田での長滞留の後、新庄入りしたのは同年6月1日だった。芭蕉らは、新庄の俳人・渋谷甚兵衛(俳号風流)の家に2泊し、地元の俳人たちと歌仙一巻を巻いた。その時の3つもの(あいさつの句)に「水の奥 氷室尋ぬる 柳かな(芭蕉)」「ひる顔 かかる 橋の伏芝(風流)」「風渡る 的のそれ矢に 鳩ないて(曾良)」とある。その後、大島蓼太(りょうた)が、芭蕉の足跡をしたって新庄に立ち寄り、地元の俳人と交流した天明元年(1781)に、新庄の俳人グループ雪映舎社中が、芭蕉と蓼太の句を刻して建立したのが、この句碑である。句碑は、昭和63年に復元され、芭蕉ゆかりの「柳の清水」のかたわらに立っている。

### 表紙の写真

### 英語であいさつ できました

～こども国際理解教室～

語学ボランティアでコロラド大学からきた学生・マサイアス・クリーガーさん、リス・メランさんと市内の小学生80人が交流しました。始めは物おじて打ち解けられなかった子どもたちも、マサイアスさんたちのユーモアあふれる自己紹介やゲームによって遊びながら、生きた英語に触れることができました。



### 5月末現在の新庄人

40,610人(41,000人)

女	21,124人(21,350人)
男	19,486人(19,650人)
世帯数	13,463世帯(13,456世帯)

#### 5月の異動

出生	38人( 23人)
死亡	32人( 33人)
転入	74人( 78人)
転出	94人( 82人)

※( )は1年前の住民基本台帳